

春彼岸会永代経法要の御案内



法要日程

三月二十一日(木)・二十二日(金) 午後一時

真宗講話

真宗寺院の現状と課題を考える 住職

※午前十一時半頃よりおつき(昼食)を用意しております。

納骨堂参詣時間

三月二十一日(木)～二十四日(日)

午前九時～午後五時。

※申経 お経をあげる(希望の方は、二十一日・二十二日は朝から納骨堂で待機しております。お申し付け下さい。

※二十三日・二十四日は住職が午前中を中心に法務に出ておりますので、申経希望の方は、後ほどお勤めいたします。

お知らせ

○寺院維持年会費 彼岸会志納のお願い

納骨堂(利用以外)の方には、維持年会費、及び彼岸会の志納をお願いいたします。

彼岸会の志納の目安ですが、大変、ぶしつけながら

五〇〇〇円前後を頂戴できますと、助かります。

○維持年会費の振込に関して

納骨堂(利用)の方、新檀家会員 平成二十八年度以降)、及び現金の方は該当しません。

振込用紙を(希望の方に)重要なお知らせです。

近年の郵便料金的大幅な値上げに続き、振込手数料も上がる(と)通達がありました。従来までの郵便振替用紙は、この度を持って取り扱いを終了します。

来年度からは、郵便通帳をお持ちの方は、直接、通帳より慈光寺の郵便口座 郵便通帳間の振込は無料)

027-609-6011-260

へATM 現金自動預払機(で)振り込んでいただくと、手数料はかかりません。または住職が詣りに行った際に、現金でお支払いいただいてもかまいません。

振込用紙で納入希望の方は、大変恐れ入りますが、**手数料がかかっています。**

出費のかさむ(と)が増えて、大変申し訳ありません。どうかご理解を賜りますようお願いいたします。

『慈光』の用紙サイズが変わりましたが、お経の話は続けていきたいと思っております。おつきあいをいただけましたら、幸いです。

「五種の悪人」とは『無量寿経』下巻の後半に語られます。仏教でいう五悪とは「殺生をしない」「物を盗まない」「みだらな行いをしない」「嘘をつかない」「お酒を飲まない」の五つを言いますが、ここでは内容が異なります。

第一の悪とは、弱者を戒め醜い争いを続けている者を言います。第二の悪とは、親子兄弟の義理をわきまえず、自分の思うままに振る舞う者を言います。第三の悪とは、世の中の欲望に身を任せる者を言います。第四の悪とは、二枚舌を使ったり、悪口を言って世の中や人を欺く者を言います。最後の第五の悪とは、世間の恩に報いず、自分の利益のみを考える者を言います。世俗的な悪、礼儀をわきまえない道徳のない人たちと思えば、現在でもいますね。

この場面では、釈尊は弥勒菩薩に語ります。仏の教えを良く聞き、良い行いをして精進しなさいと。これを私たちは「修行」と理解するでしょうが、座禅や荒行などのような修行をおっしゃってはいません。仏法はいずれ廃れるであろうと予言し、それ故、善行を大切に、身を正して仏を敬うように語っています。

何もしいのではない、あるがままを見つめること。正しい見方は、言葉では簡単ですが、己の都合の良いように考へ行動するのが私たちだと思えます。世の中は、言われるまでもなく、五種類の人間だけではありません。血液型で性格が決まるわけではありません。釈尊在世の頃から人は変わっていないということで、いつも同じ過ちを犯すという警鐘でもありません。それを釈尊は、知ることであると述べています。自覚をするというのが「修行」であるともいえます。

浄土真宗は、「自然」（じねん）を大切にします。あるがままという、やはり人は都合の良い解釈をするようで、何でもいいんだと思います。本当はそこに大きな問題があって、修行があるかないかを問題にするのではなく、仏の教えを素直に聞けるかどうかにかかっていると思います。

今後の予定

住職の予定

3月に入ると毎年、忙しくなる住職です。現在、分かっている住職の予定をお知らせします。

4月1日(月) ※当初御案内していた布教日が**中止**になりました。ご注意ください。

4月20日(土)～22日(月)まで錦織寺スクーリング出講。

4月28日(日) **花まつり(参加費無料)** 午後1時受付。**当初の日程と異なります。**

式典後、「三匹の芸人」の出演。

アルバドロス・デンカ(奇術) 宝玉齋こん太(紙切り)

極楽亭とん暮(落語) ※詳細はお彼岸中に御案内いたします。

6月1日(土) 布教日 午後1時半。

7月1日(月) 布教日 午後1時半。

寺報『慈光』について

郵便料金の値上げは、寺報発送について打撃です。従来までの『慈光』の発行は**報恩講号**と**年末号**とし、春号・夏号(お盆詣り他該当の方に限り)は、封書での御案内となります。他、ホームページの掲示板、フェイスブックで近況をお知らせしていきます。どうぞご覧下さい。

編集後記

郵便料金の大幅な値上げから、『慈光』の発行回数、サイズ変更を余儀なくいたしました。寺報としてのお知らせが変わりますが、今後ともよろしくお願いいたします。